

## 道路事業

くろいそいたむろ  
黒磯板室インターチェンジ (平成21年3月供用)

## 1 事業概要

黒磯板室インターチェンジは、栃木県が主体となって、NEXCO 東日本と共同事業のもと、地域活性化インターチェンジ制度を活用して、東北自動車道の西那須野塩原 IC～那須 IC 間に新たなインターチェンジを設置するものです。



- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：那須塩原市鹿野崎
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：L=2,069m(各ランプの総延長)
- ◆幅員：W=14.5m
- ◆IC形式：平面Y型インターチェンジ
- ◆総事業費：約39億円
- ◆事業期間：平成13年度～平成20年度

## 2 事業の目的・必要性

那須高原地域は、年間約500万人の観光客が訪れる全国有数の行楽地で、首都圏のオアシスとなっています。一方、特に行楽期には、出入口である那須ICを中心に交通が集中し、東北自動車道本線まで最大10km近く渋滞の列が伸びるなど著しい渋滞が発生していました。

このため、栃木県では「那須地域の活性化」「行楽シーズンにおける交通の分散化による交通渋滞の緩和」を目的に、平成13年度から事業に着手し、平成21年3月に供用しました。

### 3 事業の整備効果等

#### <費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手時 約 39 億円 → 完成時 約 39 億円
- ・事業期間 着手時 平成 13 年度～平成 20 年度 → 完成時 平成 13 年度～平成 20 年度

#### <那須地域の活性化>

黒磯板室 IC の整備前後について観光客の入込数を比較すると、平成 20 年オープンの「那須ガーデンアウトレット」を誘致したため、集客力が格段と高くなっています。

##### ①観光客入込数の推移

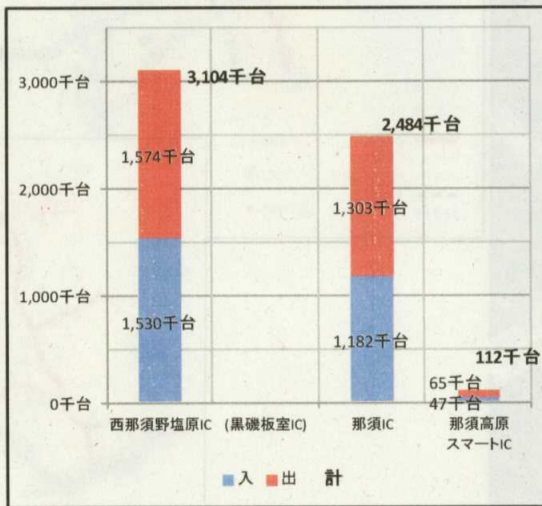
年次	市町	入込客数	合計
整備前	那須塩原市	934 万人	1,433 万人
平成 20 年	那須町	499 万人	
整備後	那須塩原市	1,036 万人	1,550 万人
平成 22 年	那須町	514 万人	

117 万人の観光客が増加しました。

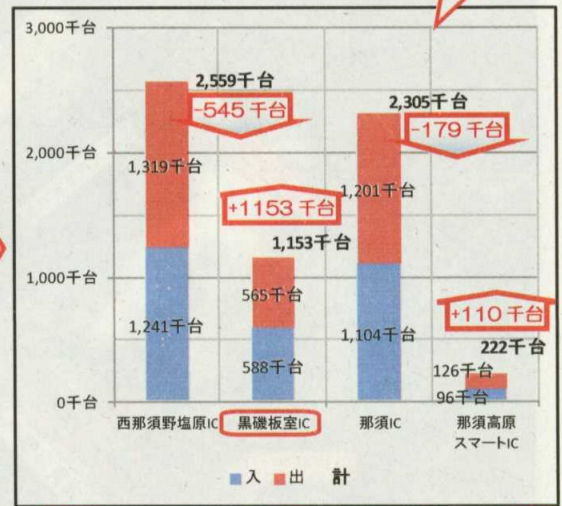
目的により利用する IC の選択肢が増え、アクセス利便性が向上しています。

##### ②東北自動車道における 出入交通量の推移

平成20年度 IC別 出入交通量



平成22年度 IC別 出入交通量



東北 4 IC の利用数が約 54 万台 (9.5%) 増加し、県北部の地域活性化へ寄与しています。

#### <行楽シーズンにおける交通の分散化による交通渋滞の緩和>

黒磯板室 IC 開通後、那須高原の道路状況がどのように変わったのか検証した結果、黒磯板室 IC が利用できるようになり、ルートを選択肢が増え、交通が分散したため、那須街道の渋滞が緩和され、91 分の時間短縮が図られました。

#### ◆所要時間による比較 (黒磯 PA ~ 一軒茶屋前交差点)

<那須街道における交通分散と渋滞緩和効果>			
平成 20 年 5 月 4 日 <b>整備前</b>			
黒磯 PA	~	那須 IC ~	一軒茶屋 (那須街道) <b>221 分</b>
↓			
平成 24 年 5 月 5 日 <b>整備後</b>			
黒磯 PA	~	那須 IC ~	一軒茶屋 (那須街道) <b>130 分</b>
黒磯板室 IC	~	板室温泉 ~	一軒茶屋 (那須街道) <b>60 分</b>



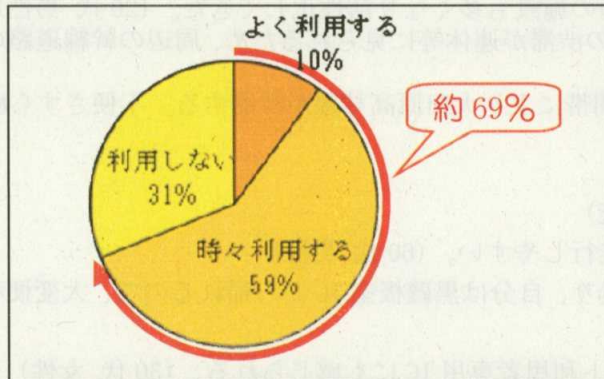
#### 4 地元の声（観光客の声）

黒磯板室 IC の整備により、道路利用や生活などにどのような変化があったのかを確認するために、地域住民や観光客にアンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数：446/498 件 回答率 90% 有効回答数は設問により異なります。)

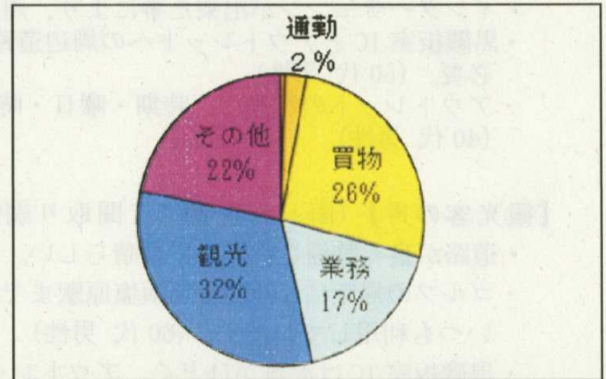
##### < 那須地域の活性化 >

##### (1) 黒磯板室 IC 利用の有無について



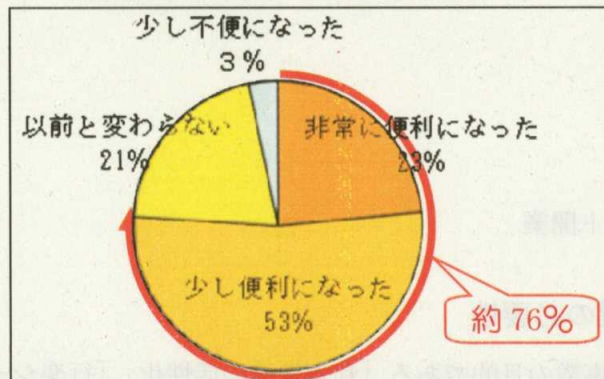
約 7 割の方が、黒磯板室 IC 利用しています。

##### (2) 黒磯板室 IC 利用の目的について



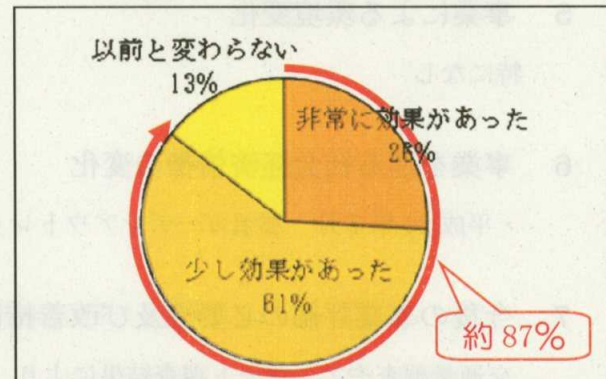
地元住民の皆様が多目的に利用しています。

##### (3) 地域生活における交通の利便性について 黒磯板室 IC 周辺（大田原高林線）



約 8 割の方が、便利になったと感じています。

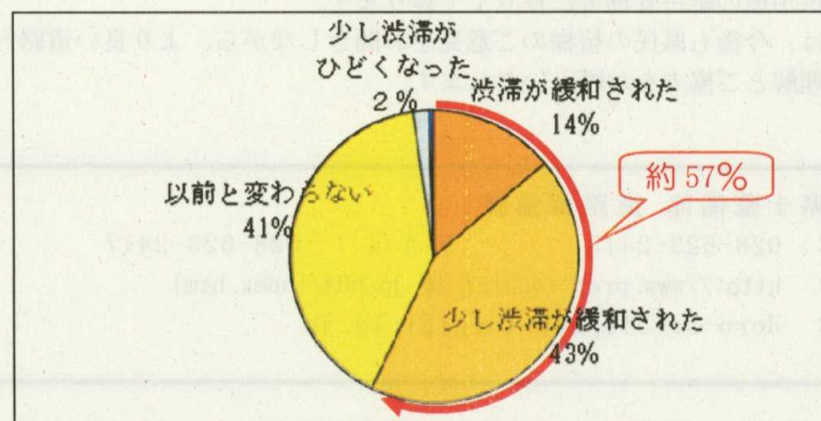
##### (4) 地域発展への影響・効果について 黒磯板室 IC 周辺（大田原高林線）



約 9 割の方が、地域発展に効果があったと感じています。

##### < 行楽シーズンにおける交通の分散化による交通渋滞の緩和 >

##### (5) 那須街道の渋滞緩和について 那須 IC 周辺（那須街道）



約 6 割の方が、渋滞が減り効率が良くなったと感じています。

(5) 自由意見

【地元の声】

- ・黒磯板室 IC が出来た事により、観光産業やブランド食品の生産が活発化し活況が出始めている。(60 才 男性)
- ・主要都市へのアクセス 1 時間が確立した。(60 代 男性)
- ・目的の方向によって IC を選択できるので便利になりました。(30 代 男性)
- ・通勤で利用する人が増えたと思います。通勤圏内が広がったため、遠くまで通勤できる。(20 代 女性)
- ・インターチェンジが出来た事により、周辺の施設も多くなり活性化してきた。(20 代 男性)
- ・黒磯板室 IC とアウトレットへの周辺道路の渋滞が連休等に見られるため、周辺の幹線道路の整備が必要。(50 代 男性)
- ・アウトレットの影響で、時期・曜日・時間帯により大田原高林線が渋滞する。不便さすら感じる。(40 代 男性)

【観光客の声】(南ヶ丘牧場にて聞き取り調査)

- ・道路が良く整備されていて素晴らしい。走行しやすい。(60 代 男性)
- ・ゴルフの帰りに、仲間を那須塩原駅まで送り、自分は黒磯板室 IC から帰れるので、大変便利なのでいつも利用しています。(60 代 男性)
- ・黒磯板室 IC は混雑がひどく、アウトレット利用者専用 IC にも感じられる。(30 代 女性)
- ・せっかく広い範囲で整備しているならば、電光掲示板等を整備すれば良いと思います。「リアルタイム」で混雑状況・迂回ルートへの案内を「誰でも」、「いつでも」わかるようにすれば良いと思います。(20 代 男性)

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

- ・平成 20 年 7 月 那須ガーデンアウトレット開業

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

交通量調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「那須地域の活性化」「行楽シーズンにおける交通の分散化による交通渋滞の緩和」は図られています。

このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では、更なる利便性向上の要望等、幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。今後、同種事業の計画策定や工事の実施、供用後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県では、今後も県民の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い道路行政の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2413

F A X : 028-623-2417

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : [doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp](mailto:doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp)

